

**憲法しんぶん 速報版**  
 発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年8月31日（金）

NO. 888 ページ号

本号3頁

憲法会議声明

## **臨時国会での改憲発議を許さないために** **早期に3000万人署名を達成しよう！**

安倍首相は8月12日、山口県下関市内で講演し、「自民党としての憲法改正案を次の国会に提出できるように、取りまとめを加速すべきだ」と改憲に向けた意欲を示しました。総裁選を乗り切り、「少数会派の意見も尊重し、円満かつ公正公平な運営」等の憲法審査会で継承されてきたルールを無視して、一気に臨時国会で改憲発議を強行する危険性があります。

また、朝鮮半島での平和への激動という新しい情勢のもとでも、安倍政権は根拠を失った「イージス・アショア」設置等の大軍拡、沖縄・辺野古への新基地建設の強行、オスプレイ本土配備等、9条改憲と並行して「戦争する国」づくりに躍起になっています。

こうした中、故翁長沖縄県知事の遺志を受け継ぎ、沖縄知事選に勝利することが、直面する重要な課題です。

先の第196回国会では、自民党は憲法審査会を動かそうと、国民投票法改正案を提出しましたが、広範な国民のたたかいと野党共闘により、審議入り・採決を断念させました。そして、安倍首相・自民党が狙った改憲論議を阻止しました。それは国民の中へ「安倍9条改憲NO！」の対話を広げ、報告集約数で1800万人に到達した3000万人署名の力です。様々な世論調査では「安倍政権下での9条改憲反対」が多数を占めています。



私たちは、これらを確認に、憲法9条改憲に反対する市民の共同をさらに広げ、3000万人署名を早期に達成させなければなりません。このとりくみは市民と野党の共闘を強め、来年の統一地方選挙、参院選で改憲勢力を少数に追い込む上でも重要です。

臨時国会における改憲発議を阻止し、安倍内閣を退陣に追い込み、朝鮮半島と北東アジアの平和・非核化を後押しする3000万人署名の大きなうねりを、この秋再度創り上げることは極めて重要です。そのため、憲法会議は次のとりくみを呼びかけます。

- 一、体制と計画をさらに強化し、これまでの経験を生かして、一人でも多くの署名推進の担い手を増やし、全戸訪問や街頭宣伝、友人・知人への訴えなど、あらゆる努力で3000万人署名を達成しよう。
- 一、夏の憲法講座DVD（渡辺治氏の講演・穀田恵二衆院議員の国会報告）、「月刊憲法運動」9月号を活用し、大小無数の学習会を開き、安倍9条改憲の危険性と3000万人署名の意義を、さらに多くの国民に広げよう。
- 一、憲法ポスターを貼りめぐらし、スタンディングやビラ配布、宣伝カーの運行など宣伝活動を強めよう。

2018年8月28日

憲法会議（憲法改悪阻止各界連絡会議）

## **安倍首相 臨時国会での改憲発議に意欲を示す！**

一麻生派からの「参院選前に国民投票」との提言に「全く同じだ」と回答一

安倍首相は27日に、自民党麻生派顧問の甘利明元経済再生担当相と会い、来年夏の参院選前に憲法改定の国民投票を実施するよう求める麻生派の政策提言を受け取りました。安倍首相は、「基本的な考え方は全く同じだ」と、改めて改憲に向けた執念を示しました。

安倍首相は自民党の総裁選の公約に、麻生派の提言も反映されると見られます。安倍首相は8月12日、山口県下関市内で講演し、「自民党としての憲法改正案を次の国会に提出できるよう、取りまとめを加速すべきだ」と改憲に向けた意欲を示しました。総裁選を契機に、9条をはじめとした改憲を、大きな焦点に打ち出そうとしています。そして、総裁選を乗り切り、臨時国会を改憲発議のチャンスと虎視眈々と狙っています。憲法審査会の審議や野党との合意を吹き飛ばして、一気に衆参両院で直接、改憲発議を強行する危険性があります。

甘利氏は記者団に首相と総裁選への立候補を表明している石破茂元幹事長との論戦について「議論を深め、課題を浮き彫りにしてくれる」と語りました。あたかも、石破氏は安倍首相と改憲で対立しているように報道されていますが、現実的には二人で改憲の雰囲気盛り上げているのです。

なお、麻生派は同日、臨時総会を開催し、首相の連続3選支持を正式に決定しました。麻生氏は「安倍政権を引き続きど真ん中で支える」と表明しました。

## 玉城氏が出馬表明、自公と一騎打ち **沖縄知事選**

自由党の玉城デニー幹事長は29日午後、那覇市で記者会見し、沖縄県知事選（9月13日告示、30日投開票）への出馬を正式に表明しました。自民、公明両党が推薦する前宜野湾市長の佐喜真淳氏（54）も既に立候補を表明しており、玉城氏と佐喜真氏による事実上の一騎打ちとなりそうです。



なお、玉城氏は、タレントや沖縄市議を経て2009年の衆院選で初当選し、現在4期目です。父親は沖縄の米軍基地に駐留していた米兵で、母親のお腹にいるときに帰国しています。母親は住み込みで働いていたため、小学校4年生まで別の家に預けられて育っています。上智社会福祉専門学校を卒業し、老人福祉センター勤務やラジオのパーソナリティーなどを経て、沖縄市議1期のあと、衆院議員に、2014年、17年は「オール沖縄」の候補として沖縄3区から出馬し、当選しました。

知事選は翁長雄志知事が命をかけてたたかった「新基地建設反対」の米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設の是非が最大の争点です。辺野古新吉建設ノアの圧倒的な民意に沿う県政か、民意を踏みにじり、新基地を強行する安倍政権いいなりの県政か、「オール沖縄」対「新基地推進の政府と自民・公明・維新」のたたかいです。

憲法会議は、声明にもありますように、「故翁長沖縄県知事の遺志を受け継ぎ、沖縄知事選に勝利する」ために、全国の仲間とともに奮闘する決意です。

## 各地のとらきみ

### **兵庫** 8/20 現在、29万筆に到達、再度ネジまき直しで前進へ

8月は、広島・長崎の諸集会から敗戦記念日、戦争体験を語る様々な催し、各地で沖縄連帯の行動とともに平和・憲法の行動が猛暑でも前進しました。8月20日現在の3千万署名到達は29万筆で、そのうちわけを団体別・行政区別に8月22日にいっせいにお伝えしました。すると各地からもっと詳しい情報が届きました。

明石市集約センターからは、全市町ごとの目標に対しサポーター数や到達筆数、11を超える市内の団体・労組それぞれの目標と到達が知らされ、当センターが今までつかんでいた数値より5千筆も多くなりました。

また伊丹市から野党共同で集めた数値や団体別集約数が知らされました。

このような状況を見ると、神戸市9区含む49行政区全ての集約状況が解れば、県レベルの到達はもっと大きいと思います。各市の具体的な集約・到達数をお知らせ下さるようお願いします。《壊憲阻止・戦争法等廃止・野党共闘・原発・行動案内》

※9/9（日）17:10 [西宮北口アクタ回廊] 憲法宣伝署名

## 鳥取 市民と3野党の合同街頭アピール

鳥取市のJR鳥取駅北口で25日、市民と3野党の合同街頭アピールが行われました。「住民の声で鳥取市政をつくる会」の井上眞澄さんは「市民と共闘する議員さんたちは、被災者の声を聞き、要望をまとめて市や県、国に届けています。国民のことより自分の特権優先の政治におさらばしましょう」と呼びかけました。

日本共産党の伊藤いく子、岩永やす子両市議らが参加。伊藤氏は、「参院選での市民と野党の共闘勝利で自公を少数に追い込み、憲法改悪を狙う安倍政権を退陣させよう」と訴えました。岩永氏は、「熱中症対策として小・中学校の全教室へのエアコン設置、高齢者、子ども、障害者がいる世帯へのエアコン設置と電気代への支援は政治の責任だ」と訴えました。

社民党県連合の米村正一幹事長は「再び戦争するための国づくりをすすめる安倍政権を許してはならない」、新社会党県本部の中宇治節雄書記長は「政府による侵略戦争と戦争の惨禍を反省して憲法が制定された。9条改悪を許さない声を広げよう」と呼びかけました。

## 宮城・王城寺原 日米共同訓練にゲート近くで抗議集会を開催

宮城県の陸上自衛隊王城寺原演習場で、26日から9月19日まで計画されている日米共同訓練に対して25日、色麻町の新町・除ゲート近くの休耕田で現地抗議集会が開かれました。

小雨交じりの蒸し暑い中、参加した50人は集会後、「戦争訓練反対」「米軍はアメリカに帰れ」「地元住民の安全を守れ」「イージス・アシュアは日本にいらぬ」と訴え、ゲート周辺をデモ行進しました。沿道から手を振り共感を示す住民もいました。

集会では、主催した米軍移転・日米共同演習反対県連絡会の代表委員・高橋正行県労連議長が「やりたい放題の政治をしながら、戦争する国づくりに突き進む安倍政権を一刻も早くやめさせなければならない」と挨拶しました。

日本共産党の内藤隆司県議は、今回の訓練が都市型施設での戦闘訓練など、米軍との戦争訓練が中心だと指摘し「平和の運動を、集会を契機に大きく広げよう」と呼びかけました。

地元の藤巻博史大和町議は、2月の共同訓練で「オスプレイが、家の目の前を飛んでいた」との住民の声を紹介しながら、オスプレイが演習場から外にはみだして訓練していたと告発しました。

## 憲法ポスター

### 岩手の田野畑村に30枚貼り出される！

憲法ポスターは7月18日から普及を始めましたが1ヵ月ちょっとで1500枚の普及となりました。そして、岩手の購入者の振込取扱票に嬉しいメモ書きがありました。

○24日午前中、支部員と協議し、30枚すべてを貼り出しました。おかげさまで、雰囲気が出ております

知らせて下さった方の住所は、「田野畑村奥地」。地図で見ますと、宮古と久慈の間の村のようですが、たぶんのどかなところかと地名で想像します。そこに30枚の憲法ポスターが貼り出されたとは、すごい景観でしょう。頑張りに感動です。

皆さんの地域でも。街中・村中に貼り出しませんか！

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p><b>ポスターができました！</b><br/>（原簿インプリントも好評です）</p> <p><b>憲法9条を変えて、<br/>「戦争する自衛隊」<br/>にしているのですか</b></p> <p><small>国を助けるために必要と認められた国防力を行使してはなりません。3000万人の命を犠牲にして、安全と平和の夢を築くことができません。憲法インプリントであなた自身の9条の立場について考えましょう。憲法ポスターも地域の戦場に取り組みたい方々や学生グループの集まり、3000万人の命を守る力を呼びかけましょう。</small></p> <p>憲法会館 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-14<br/>神保町マンション202 TEL.03-3261-9007<br/>E-mail:mail@kengoukaigi.jp</p> | <p>憲法9条を変えて、<br/><b>「戦争する自衛隊」<br/>にしているのですか</b></p>  | <p><b>新刊！<br/>ポスター</b></p> <p><b>1枚 100円 (頒価)</b><br/>◎A2判 ◎2018年7月10日発行<br/>(多枚数割引有り)</p> <p><b>大衆版<br/>パンフレット</b></p> <p><b>1冊 100円 (頒価)</b> ◎B5判 ◎2018年7月10日発行<br/>(多枚数割引有り)</p> <p>お申込</p> <p>送料別添付。ご注文専用 憲法会館 発行</p> <p>必要事項(住所、氏名)を記入し、振込取扱票、振込を記入の上、〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-14 神保町マンション202番地まで、ポスター1枚、パンフレット1冊を同封の封筒に入れてお送りください。</p> <p><b>FAX 03-3261-5453</b></p> |
|--|---|--|